想い出の剱岳

布引支部 渡田哲夫

4月7日に緊急事態宣言が発令されて1ヶ月余りが過ぎました。感染者数は減ってきましたがまだ収束には至ってません。山岳4団体からも山岳スポーツの自粛要請が出されました。不要不急の外出自粛の中、写真を見ながらゆっくりと過去の思い出をたどってみることにしました。一刻も早くコロナ禍が収束することを願っています。

2014年夏、ヒョコに入会して初めての夏でした。吉野会長に「剱岳に登りたいのですが」 とお聞きしたところ「大丈夫、要所要所に鎖が張ってあるから」という返事をいただきま した。会長から大丈夫との返事をいただき「剱岳登頂」の計画を即実行に移すことにしま した。

【2014年8月2日】

友人と 2 人で富山駅前に前泊。2 日朝富山駅前 6:30 発のバスに乗り 9:00 に室堂に着きました。朝食を取り、準備をして 10:00 に室堂を出発。室堂は高原の夏を楽しむ人で賑わってました。ミクリガ池にはまだ雪がたくさん残っています。



室堂遊歩道



ミクリガ池

雷鳥沢キャンプ場の色とりどりのテントを右に見ながら雷鳥坂を登っていきます。別山乗越には13:00に到着。剱御前小舎には満員の貼紙がしてありました。



雷鳥沢キャンプ場



剱午前小舎

ここで昼食を取り、本日の宿泊場所である剣山荘に向かいました。 剱沢の雪渓にはまだ雪がたくさんありました。 ストックを使ってゆっくりと慎重に歩きます。





剱沢雪渓

剱岳

剣山荘には 14:30 頃に到着。剣山荘はたくさんの人でした。部屋にザックを置いて順番に シャワーを浴びました。本日は、明日の登頂に備えて早目に休みました。明日の好天を祈 って!!

【8月3日】

朝、4:30 頃に目が覚めました。天気は最高。鹿島槍ヶ岳方面に登る日の出を見ながら期待に胸がふくらみます。





鹿島槍ヶ岳方面の日の出

朝食を済ませ 6:00 に出発。まずは一服剱に向かってゆっくりと進みます。一服剱から前 剱までは高低差もありつづら折りが続きます。





一服剱

一服剱から見た前剱

直径7~8mの大岩を過ぎると鎖場があり前劔(標高 2813m)のピークが近づいてきました。前劔は剱岳と見間違う程迫力があります。前劔からしばらく進むと右側の平蔵谷にスパッと切れ落ちた門と呼ばれるところに出ました。鎖を掴んで慎重に登ります。すぐに下りとなり厳しい岩場が続きます。

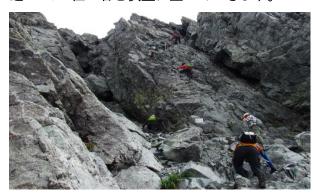






平蔵谷の門

小さなアップダウンを繰り返して平蔵のコルに着きました。ここから先が有名な「カニのタテバイ」です。多くの人が登っています。順番を待ちながら休憩を取りました。垂直に近い 17m程の岩を慎重に登っていきます。





カニのタテバイ

登り切ってから 10 分程歩くと稜線に出ました。ここは、下りの「カニのヨコバイ」との分岐点で混んでました。緊張が続いて疲れもピークに達していますが、あともう少し頑張ろう!



山頂が見えてきました



剱岳山頂

早月尾根からの道と合流し少し行くと剱岳神社が見えました。

剱岳山頂 (2999m) 到着です。到着時間は 9:00 でした。

山頂にはたくさんの人がいました。天気も良く富山湾が一望できました。北東には鹿島槍ヶ岳をはじめ後立山連峰、南には立山連峰と360度の展望が楽しめました。山頂の祠は 落雷で破壊され本日新しい祠が設置されたところでした。



山頂で記念撮影



鹿島槍ヶ岳をバックに



山頂の祠



下山開始

山頂でしばらく展望を楽しんだ後、記念写真を撮り下山開始です。下り専用の「カニのヨコバイ」に来たときは足が下に届くか心配でしたが、何とか足の踏み場を確保しました。ここからは鎖を持って10m程横歩きをします。カラビナを脱着する人が多く渋滞でなかなか進みません。なんとか「カニのヨコバイ」を通過しました。



カニのヨコバイ



そこからは垂直の鎖場、梯子を慎重に下り平蔵のコルまで下りてきました。緊張の連続で した。平蔵の頭で休憩を取り、登ってきた道を下っていきます。剣山荘には昼頃に到着、 無事下山できました。剱岳登頂を祝って乾杯をしました。少しゆっくり休憩をしてから本日の宿泊場所の内蔵助山荘に向けて出発。劔沢小屋から劔沢キャンプ場を通って別山を登り返しました。





剣沢小屋から見た剱岳

剱岳 八ツ峰

別山から真砂乗越を越えて内蔵助山荘に着いたのは 17:00 を過ぎてました。今日は疲れていたので夕食を食べてすぐに休みました。

【8月4日】

朝起きると昨日と打って変わって土砂降りの雨!一日ずれておれば"剱岳"はあきらめざるを得ませんでした。空の神様に感謝です!7:00、雨の中室堂に向けて出発。真砂岳、大汝山、雄山と順調に下りていきました。10:00 過ぎには室堂に無事に帰ってきました。雨は延々と降り続いてます。しかし私の心は剱岳登頂の感激で晴れ晴れしていました。